



今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2022年 3月18日

日本鉄道労働組合連合会

## 貨物鉄産労2022春闘交渉妥結

- ・定期昇給の実施とともに、2022年7月1日現在(昇給前)の基本給に0.1% (平均300円)を乗じた額を加える。
- ・プロフェッショナル職群の高卒初任給を2,000円引き上げ168,000円とする。
- ・実施日 2022年7月1日

貨物鉄産労は3月17日、2022年春季生活闘争の第4回団体交渉を行い、会社から上記の回答が示された。

会社は「長期ビジョン2030」で掲げた、持続可能な社会の実現に向け、これまで「物流生産性の向上」、「安全・安心な物流サービス」、「グリーン社会の実現」、「地域の活性化」の4つの価値を社会に提供するための取り組みを推進してきたことに触れ、「今後も安全の確保と事業の発展にむけ、全社員が一丸となって取り組んでいきたい」と述べた。

回答を受けて貨物鉄産労は、「これまでの春闘において『定率ベア』を示されたことはなく、違和感を覚える。給与水準の低い若年層の組合員からは不満の声があがっており、我々の要求額とも乖離がある」との見解を示したが、昨今の会社を取り巻く情勢や経営状況を踏まえれば、「ベア実施」の判断に至ったことは大いに評価できるとし、席上妥結とした。